

令和4年度 信州大学教育学部附属長野小学校 初等教育研究会のご案内

子どもと共に在る授業 ~子どもを聴く教師の在り方を探って~

令和4年11月26日(土)

【主催】 信州大学教育学部附属長野小学校初等教育研究会
【後援】 長野県教育委員会・信濃教育会・長野市教育委員会・長野上水内教育会

「どうしてなんだろう」「もっとこうしたい」。この
ような子どもたちの問いや願い、いきさつ、状況等
を聴きながら、私たち教師は、子どもとどう共に在
ればよいのか。ご参会の皆様と授業の子どもの姿
を基に教師の在りようを考え合いたいと思います。
初等教育研究会 代表 渋谷 孝信
教育研究委員会委員長 佐藤 桂治

8:10	8:35	8:45	9:00	9:15	10:00	10:55	11:15	12:00	12:55	14:50	15:20	16:20	16:30
受付	開 会 式	全 体 研 究 発 表	移 動	提案授業① 自由参観授業 (全学級公開)	授業を 語る会 (各授業会場)	休 憩	提案授業② 共同参観授業 (算数科・図画工作科)	昼 食	教科研究発表 授業研究会(分科会)	休 憩 ・ 移 動	講演会	閉 会 式	

自由参観授業 [9:15~10:00]
※自由参観授業の教科については、10月中旬の
二次案内にてお知らせします。

~本年度の提案教科 授業者より~

算数科 研究テーマ

指 導 者 長野県教育委員会北信教育事務所指導主事 清水 和 先生
共同研究者 信州大学学術研究院教育学系教授 茅野 公穂 先生

わたしの問いをもち 数理をたしかなものとしていく子ども

提案授業①【9:15~10:00】 【5年2組】 授業者 塩澤 和也
子どもたちの「なぜ」「どうして」を出発点として、子ども自身が問いをもつ授業を目指しています。抽象化していく高学年の学習内容の中で、子どもたち一人ひとりがもつ問いと一緒に考え、追究していく授業をつくっていきたいです。

提案授業②【11:15~12:00】 【2年2組】 授業者 有賀 功太郎
一人ひとりの問いを大切に算数の授業をしたいと考えています。そのために、子どもたちがどんなことに問いを見だし、どう解決していこうとするのか、そして、教師自身はどう子どもたちと共に在ればよいのか考えながら授業をつくっていきたいです。

図画工作科 研究テーマ

指 導 者 長野県総合教育センター専門主事 千原 厚 先生
共同研究者 信州大学学術研究院教育学系准教授 猪瀬 昌延 先生

素材とのかかわりを通して わたしを豊かに表現していく

提案授業①【9:15~10:00】 【4年1組】 授業者 小山 啓太
子どもが素材から受け取った魅力を味わい、「こうしたらどうなるだろう」とワクワクしながら自分なりの表現をしていく授業を目指しています。子どものつぶやき、表情、手や体の動きなど、子どもが表現していく過程を大切にしながら、教師も共に素材の魅力を味わっていきたいです。

提案授業②【11:15~12:00】 【3年1組】 授業者 佐々木 優
子どもたちが夢中になって素材にかかわり、「もっとこうしたい」「こんなこともできるかな」と願いや思いをもって取り組む図工の授業を目指しています。教師も子どものつくる世界観に入り込みながら、子どもが感じていることを共有していきたいです。



講師 同志社女子大学 現代社会学部 現代こども学科
准教授 ^{よしなが} 吉永 ^{のりこ} 紀子 先生

〔講師履歴〕
・京都大学教育学部教育学科 卒業
・京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程学修認定退学
・福島大学教育学部講師、福島大学人間発達文化学類准教授を経て、現職

〔主な著書〕
・『深い学びを紡ぎだす—教科と子どもの視点から』 勁草書房 共著
・『戦後日本教育方法論史(上)』 ミネルヴァ書房 共著
・『教師になること、教師であり続けること』 勁草書房 共著
・『学びのための教師論』 勁草書房 共著
・『学力を育てる教育学』 八千代出版 共著

参加申し込みについて

◆参加要項について
参加の申し込みは、Webでの申し込みをお願いする予定です。
詳細につきましては10月中旬頃、二次案内にてお知らせいたします。
◆本校の活動の様子については、右記のQRコードよりご覧いただけます。



本校ホームページへ

信州大学教育学部附属長野小学校
TEL 026(251)3350 FAX 026(251)3353
担当：佐藤 桂治